

「なぜ」バカな動画をアップするのか。

動画投稿で、一生、ダメージを負うことはわかりきっている

くら寿司、動画炎上で法的措置

2019年02月09日 日刊スポーツ

回転ずし大手のくらコーポレーションは8日、運営する「くら寿司」の男性アルバイトが店内で不適切な動画を撮影し、インターネット上に投稿した件で、同従業員に対し刑事および民事での法的措置の準備に入ったことを公式ホームページで発表した。

同社は、不適切動画に関与した従業員2人について「2月8日をもって雇用契約を終了し、退職処分としたと同時に、刑事、民事での法的処置の準備に入った」と報告した。

「正しく怖がるインターネット」小木曾 健著より

投稿に潜むリスク

①炎上は、たった2人で始まる。

1人目が投稿し、2人目が気づいて「2ちゃんねる」「ツイッター」などの騒ぎがおきやすい場所に投稿するだけ。あとは100万人が勝手にやってくれます。拡散は「1人→2人→100万人」の原理。

②身元はこうしてバレる。

拡散された投稿動画・画像から、この人知っている、あそこ家の近所、・・・などなど。100万人が勝手に犯人さがしを開始します。名前、学校、住所、家族の勤め先、評判などの情報が投稿される。

これによって、注文していない出前が届く、家に張り紙、夜中に電話が止まらない、引っ越し先の住所が〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3とネットに投稿される。

③人生を狂わす本当のリスク

いじめ動画を投稿し炎上した人の話です。

「このような騒ぎになり、謝罪し、反省をして心を入れ替え勉強も運動も頑張った。」

2ヶ月後 騒ぎが収まる。

2年後 1人がA高校に推薦合格したものの、当日中、合格取り消し。一般入試で、別の高校へ

数年後 就職活動を始める。

内定取り消しが相次ぐ、希望外の職種に就職。

11年後 恋人ができる

14年後 婚約。婚約者の親戚がネット検索で、過去の炎上事件を知る。破談

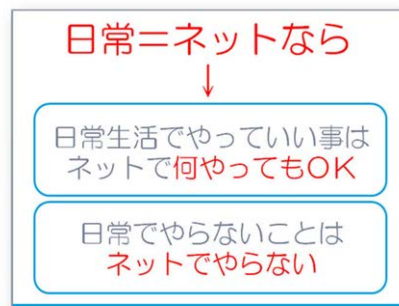
人間って「進学」「就職」「結婚」などの**人生の大事な場面**だけ「過去の振る舞い」がバッチリ注目されちゃうんです。ちょっと想像してみてください。自分の親友・家族・知人・昔好きだった人が結婚するとしたら・・・相手がどんな人だか気になりませんか？普通のことですよ。本人のSNSがあれば見てみようかな程度の軽い気持ちです。炎上させたことがあるかな、なんていう大げさな確認ではありません。人間は誰でも**人生の大事な場面**だけ、**自然としっかり注目**されてしまうものなのです。そして炎上をやらかした人は、その大事な場面のたびに、ネットで過去の炎上が見つけれられてしまい、そのせいで自分の人生が邪魔されるんです。過去の炎上が、自分の足をグッと引っ張っているのです。世の中はとっくに忘れてるのに・・・。しかも解決方法がないどころか、終わりもありません。生きていれば**「人生の大事な場面」**は何度でもくり返しやってきます。これが本当の恐ろしさです。

ネットで絶対に失敗しない方法

『日常』も『ネット』もすべて同じ世界です。わけて考えないことです。

ネットも日常も普通に私たちが使っています。
ネットの中での人間の感情、面白いと思う気持ちや怒る理由、ルール、マナー、文化は現実社会と同じです。ネットの中でも罪を犯してもいいとか悪口を言っても大丈夫にはなりません。

「現実では言えないこと、だからネットに書く」は大変危険な考え方です。



このように考えて

ネットにモノを書くということは、自宅玄関にベタベタものを貼っていくのと同じ作業なのです。だから玄関ドアに貼れるものは、ネットに貼っても全く問題なし。そしてドアに貼れないものは、ネットに書かない方が良く、のではなく……書かないことです。



さいごに

ネット投稿は、「悪いこと」、「ヤバいこと」だとわかっていながら、その場のノリで、思わずしてしまう。

人は、内緒と言いながら、他の人に話す。2人だけの秘密なのに多くの人知っている。こういうことはあります。もしかしたら、本能的に多くの人に知らせたい気持ちがあるのでしょうか。自分の気持ちにあらがい、自分をコントロールできる強さが必要なのでしょう。

人ごとで済ませず、どんな状況においても「正しく怖がる」行動をして下さい。